

2019年度 うらら多磨 事業報告

今年度の特記事項

高齢者住宅については、年間利用実績 98.1%を確保し、入居者の状態維持・必要なサービスへのつなぎ・空室への速やかな対応三点ほぼ達成できた。

訪問介護事業については、今年度は、第三者評価機関の評価も受審し、利用者援助内容、職員処遇共にしつかりと行っているという評価を受けた。適切な事業運営の継続についてはほぼ達成できたが、新たな登録ヘルパーや総合事業講習受講者の獲得はそれぞれ 1 名にとどまり、実績を伸ばすまでには至らなかった。

1 府中市高齢者住宅うらら多磨（単身利用戸数 13 戸）

まず、住宅管理者が福岡理事に変更した。高齢者住宅利用実績 98.1%。新規入居は 3 名だったが、それぞれ精神科病院長期療養、他市のサ高住、市内他のサ高住から入居拒否された方と今年度もうらら多磨でしか受けられない方の入居が続いた。退居は 2 名（末期がんにて入院後逝去、認知症進行による老健入所）。介護保険サービス等利用内訳（訪問介護 11 名、通所介護 11 名、訪問診療 4 名、福祉用具 8 名）。毎月の入居者懇談会では入居者間の関係作りに努めた。コーディネーター会議（毎月開催）で入居者の状況把握・共有及び虐待防止・感染症予防研修、入居者・職員合同での防災訓練、ナースコール操作対応訓練を行った。1 月恒例となった餅つきはあさひ苑の協力も得て隣接の保育園・地域関係者と合同でにぎやかに良い交流ができた。

＊入居者の状況（2020 年 3 月 31 日現在）

（単位人）

	自立	要支 1	要支 2	介護 1	介護 2	介護 3 以上	合計	内生保受給者
男	0	0	1	1	1	0	3	0
女	0	2	0	3	5	0	10	3
計	0	2	1	4	6	0	13	3

2 うらら多磨ホームヘルプサービス

法人における府中地区の唯一の訪問介護事業所となって 5 年が経過したが、この 1 年間利用者数はほとんど増減がなかった。社会福祉法人が行うホームヘルプサービスの意味合いについて再確認し、居宅事業所に情報を周知する必要をさらに感じた 1 年であった。支援内容に関しては、自立支援を基本にしつつ、法人理念に基づいて困っている方への支援に努めた。特にうらら多磨高齢者住宅に居住している利用者の相談や支援を積極的に行った。また、府中市における総合事業訪問型サービスの実施事業所として初めて講習受講者 1 名雇用し必要あるサービス提供を行った。

うらら多磨ホームヘルプサービス 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	45
要支援2	8	6	6	6	6	5	6	6	6	6	6	7	74
要介護1	12	12	16	16	15	18	20	17	19	16	16	16	193
要介護2	12	12	11	11	12	12	12	12	11	11	11	12	139
要介護3	5	5	6	7	5	5	5	3	3	1	1	1	47
要介護4	4	4	4	3	2	2	2	2	3	3	3	3	35
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人数合計	45	43	47	47	44	46	49	44	46	40	40	42	533
件数合計	465	457	459	493	445	460	468	462	488	386	368	450	5401